

去る 1 月 16 日（木）、2014 年度ワシントン日本商工会の年次総会と新年会がワシントン市内のパークハイアットホテルで開催されました。大変寒い中にも拘らずご出席くださいましたご来賓の皆様、会員各位、また会合の運営に協力くださった皆様には、この誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。本号では年次総会と毎年恒例となりました新年会の様子を皆様に報告させて頂きます。

年次総会

冒頭、議長役の寺澤前幹事より、法人会員 103 社、個人会員 129 名の内、法人 57 社、個人 19 名のご参加により総会議決足数を満たした為、年次総会が有効に成立した旨の報告がなされ、引き続き以下各事案の審議が行われました。

- 第 1 号議案：柳原会長より 2013 年度の事業内容が報告され、承認されました。
- 第 2 号議案：直木財務理事より 2013 年度の会計報告が行われ、承認されました。尚議場より会計報告をより分かり易い表記にして欲しいというご意見があり、今後この点に留意する旨理事より説明がありました。
- 第 3 号議案：2013 年 1 月開催の総会以降に退任した理事の後任として、理事会推薦で就任した黒川理事・栗林理事・坂元理事が追認されました。また今回の総会を以って退任する理事 2 名の後任として、理事会より丹羽章裕氏・篠崎眞睦氏が推薦され、承認されました。

上記 3 議案審議の後に総会は一旦休憩となりました。その間に開催された臨時理事会にて新体制が決定、各理事の新たな役割りとして、地域担当に花井理事、総務担当に丹羽新理事、広報担当に篠崎新理事、また幹事に秋山がそれぞれ就任、他理事は全員前年度の役割りを引き続き担当することになりました。

再開した年次総会後半では新幹事が議長役を引き継ぎ、上述新体制の報告に続いて以下議題が審議されました。

- 第 4 号議題：柳原会長より 2014 年度における運営方針案について説明があり承認されました。
- 第 5 号議題：直木財務理事より 2014 年度予算案について、また幹事より会費値上げの経緯について夫々説明があり、承認されました。議場よりは、更なる会費値上げや研修会の完全有料化等による収益拡大に関する意見が呈され、理事会ではこれら指摘事項も踏まえ当会安定経営に向けて引き続き鋭意努力することになりました。
- 第 6 号議題：特にご質問はありませんでしたが、出席された会員の方から、今般理事を退任された寺澤英光様、久能裕子様への謝意の言葉を頂きました。

新年会

総会に引き続き正午より同ホテル／ギャラリーボールルームにて新年会が開催され、来賓と当会会員等を併せ総勢 111 名のご参加を頂きました。

新年会の冒頭では、司会進行役／黒川理事の紹介で壇上に立った柳原会長よりお集まりの皆様への新年のご挨拶に続き、来賓を代表して佐々江賢一郎特命全権大使よりご挨拶を賜りました。更に来賓としてご出席頂いた日本大使館の皆様のご紹介に続いて、泉裕泰特命全権公使による乾杯のご発声の後に午餐を取りながらのご歓談に入りました。

お食事の途中で、幹事より 2014 年度の理事会新体制と理事の紹介を行った後、今般任期を終えて退任されたお二方の理事を代表して、久能裕子様よりご挨拶を頂きました。

メインコースをご賞味頂いた次は目玉企画の「新春座談会」です。DC で活躍される日本の女性テレビ支局長、田中淳子様（NHK ワシントン支局長）、新堀仁子様（テレビ朝日ワシントン支局長）、森守弥子様（フジテレビワシントン支局長）の 3 名をパネリストにお招きし、旬のテーマである“女性の社会進出”についてディスカッションをして頂きました。モデレーター役の南里理事による軽妙な進行の中、パネリストの方々ご自身の経験も踏まえたご発言や中味の濃いご提言の数々に、会場は大いに盛り上がり、新年会に相応しい華やかな雰囲気にも包まれました。座談会終了後も余韻が覚めやらぬ会場でしたが、残念ながら予定の時間を大分超過してしまったこともあり黒川理事の閉会宣言を以って今年の新年会はお開きとなりました。ワシントン日本商工会では本年度も色々な企画で会員の皆様の親睦を図って参りたいと思います。引き続き皆様の積極的なご参加、並びに暖かいご支援を宜しくお願いいたします。

／以上

後記： 上述座談会はパネリストの皆様に興味深いオフレコのお話をたくさん披露頂いたことで大盛況となりました。ご協力頂いたパネリストの皆様に対し、主催者を代表しこの場をお借りして御礼申し上げます。もし新年会直前や当日に何か TV ニュースになるような出来事が発生したらパネリストの方が全員出席できなくなるかもしれないという、ある意味で非常に大胆な企画であった為、世の中が比較的平穏無事であったことに主催者一同ほっと胸を撫で下ろした次第です。